

第14回杉並区における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設的な議論を傍聴できると思い参加したが、本旨と異なる話題で時間を浪費している。話し合いの会は、傍聴人に発言する権利が無いので、構成員はその事を理解して発言して欲しい。</li> <li>今までに述べ4回参加したが、何の進展もないこの会は止めた方が良くと思う。過去に何回行われたかは知らないが、同じ方（初老の声の大きな男性）はいつも同じ話ししかしていないし、他の構成員の意見（反対の主張をしている方）に耳をかたむけようともしていない。特定の意志をもって（廃止）その主張を繰り返すのは意味がない。また、司会者も議事の進行を適切に行っておらず、司会者失格である。過去の経緯も重要だが、何よりも優先すべきはこれからの事だ。地上部街路をどうしていくか真剣に議論して下さい。</li> <li>東京都も税金を使っているので、建設的な議論を行うために、不毛な主張をする構成員キチンと注意して下さい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>話しあっても、(というか、話しあいになっていないけど)、無駄な気がします。神原さんの言う通り、都は作ることに決めている。違うと言うけれど、「必要性有る」のデータしか出さない。古川さんたちの都市計画提案への即レスを見ても、それは明らかです。</li> <li>都の茶番に、つきあいきれません。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい場をつくって21世紀型の議論をすべしという意見が出たが、それならば旧法下でつくられた50年前の計画、そして国会も建設大臣も有識者会議も否定的だった計画であり、しかもペテンともいえる因縁を持つ外環地上道路の復活をゴリ押しするのではなく、外環の2計画をすっぱりと廃止し、その上でそれこそ21世紀にふさわしい全く新しい計画、住民が納得できる道路計画を提示して、住民に問いかけるべきである。それならば新しい場をつくる意味があると思う。過去の経緯をチャラにするための提案なら反対。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「杉並区における地上部街路に関する話し合いの会」の傍聴は今回初めてです。</li> <li>質問に対しての答えがキチンと返ってきていないと思いました。建設する事は決っていて、ただ意見を聞いているだけといった感じでした。</li> <li>2006年6月に東京都都市整備局都市基盤部街路計画課外かく環状道路担当が発行したパンフレットには「外環ノ2」について一切記載されていません。なぜなのでしょう？このパンフレットに騙され、将来が不安です。</li> </ul>
5	<p>①議事録に情景描写を記載するかどうかの議論がされたが、この具体的事例は、この会議において傍聴者をどのように考え、どのように考え、どのように扱っているか、司会者や事務局の考えを伺いたい。</p>

	<p>構成員より、おろそかにしていませんか？</p> <p>②ほんのすこしの資料配布時間を待てないような進行ではなく、司会者の会の運営の根本的な（まずさの）改善を何度も何度も考えてほしい。</p> <p>③傍聴者のご意見カードにも司会者や事務局の考え方をつけて下さい</p> <p>④運営に関する文書での意見は古川さんだけということだが、本日配布されている中島さんのご意見カードもそうではないのか？</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車を運転する人は、スムーズに通れる道路があれば便利だと思ってしまうが、車を運転もしないし、持っていない私は、全然関係ありません。バス通りは狭いと思っていますので、拡幅すればいいと思っています。その場合は、立退かされる人もいますが、新しい道路を造るよりは少なくすみます。また買収費用もかなり少なくなるはずで。西荻駅前の道路も拡幅予定があるはず。どうなっているのか、そちらをする方が先ではないかと思えます。平成13年の「たたき台」からは、地上部の計画はなくなったものとしか理解できません。地上のメニューはからっぽになった計画地を利用するという趣旨のもので、外環の2の計画はないのが前提です。安西さんの回答は、公務員として、過去を否定できないので、理くつをこねているだけものです。都の態度はごうまんだと思います。</li> <li>● 21世紀にふさわしい道路は、道路造りではなく、生活を大事にすることができる道路です。外環の2は生活をこわします。</li> </ul>
7	<p>※本日の古川構成員の資料12-3に関する質問と、都の回答はポイントをずらしたものであるというすれちがいは、武蔵野市の話し合いの会での前回の古谷質問の場合と同じであって、議論の進展がない。会議の進行をスムーズにするためには、このような的はずしの回答が続く限り無理と感じました。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 色々長く話しているけどもう少し住民の意見を聞き道路を止めていく方針でいてほしい</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 準備会が必要なのではなく、質問に噛み合う回答をすればよいだけのこと。本末転倒している事務局提案。</li> <li>● 武田課長は資料12-3についての古川構成員の指摘「私の質問の回答になっていない」に対し、「口頭ではいったいわないになるので」と文書による回答を約束した。古川氏の指摘は、これまで様々な局面でも行われていた。今後は全ての質疑への回答が持ち帰らなくて済むようにしてもらいたい。また今回の文書による回答は、必ず次回にするように。</li> </ul>